

## Physiology

- 6) 大島勇人：平成 29 年度 SCRP 日本代表選抜大会審査員，東京，2017 年 8 月 18 日。
- 7) 大島勇人：平成 29 年度歯学系 CBT 問題評価・プール化小委員会
- 8) 大島勇人：平成 29 年度一般社団法人日本保健情報コンソシウム再生医療倫理委員会（細胞療法）委員
- 9) 依田浩子：文部科学省 科学技術専門調査員
- 10) 上田 実，大島勇人：(企画) 日本再生医療学会特別シンポジウム「開業医が進める再生医療：歯科再生医療を中心に」：(座長) 上田 実，大島勇人，1. 吉江弘正『歯周組織再生療法の現状と導入』，2. 春日井昇平『我が国におけるインプラント治療と、インプラントに関連した再生医療のガラパゴス化』，3. 古川和親『再生医療サポート保険（自由診療）について』，4. 井上 肇『末梢血を利用した現実的再生医療技術の普及』，5. 上田 実『培養上清を使った歯槽骨の再生』，6. 江副幸子『開業医に必要な再生医療教育』，東京，2017 年 5 月 14 日。
- 11) 大島勇人：象牙質・歯髄複合体の発生と再生，鶴見大学歯学部特別講義，2017 年 6 月 17 日。
- 12) 大島勇人：(企画) 第 22 回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催），名古屋，2017 年 6 月 30 日。
- 13) 大島勇人：エンドドンティクス。神奈川歯科大学特別講義，横須賀，2017 年 9 月 5 日。
- 14) 大島勇人，山城 隆：(座長) 第 59 回歯科基礎医学会学術大会日韓シンポジウム「The control of odontoblast differentiation and dentin-pulp complex formation」：1. 大島勇人『歯の外的侵襲後の歯髄修復機構と歯髄幹細胞の特性』，2. Joo-Cheol Park『Role of CPNE7 in odontoblast differentiation and dentin formation』，3. Reuben H. Kim『Calcium signaling in odontogenic differentiation and reparative dentin regeneration』，4. 山城隆『象牙芽細胞分化と Wnt シグナリング—新たな象牙質の再生療法を目指して—』，第 59 回歯科基礎医学会学術大会，塩尻，2017 年 9 月 16-18 日。J Oral Biosci Suppl 2017, p.61-64, 2017.
- 15) 細矢明宏，大島勇人：(企画) 第 17 回歯科基礎医学会学術大会メインシンポジウム「エナメル質研究の新規展開：エナメル質形成におけるケラチンの役割」：(座長) 細矢明宏，大島勇人，1. 大島勇人『エナメル質形成におけるケラチン研究最前線』，2. 山越康雄，千葉理紗子，山本竜司，齊藤まり，唐木田丈夫，西川純雄『エナメル質形成過程に見出されるケラチン 75 について』，3. 久家貴寿，佐々木光穂，鈴木 治，中山祐治，朝長毅，山岸伸行『FAM83H はケラチン細胞骨格を制御することでエナメル芽細胞維持に働く』，4. 中富満城『Msx2 遺伝子は外エナメル上皮の角化重層扁平上皮化を抑制する』，5. 齋藤 幹，福本 敏『Sox21 はエナメル芽細胞分化と角化上皮化抑制に重要な役割を担う』，第 59 回歯科基礎医学会学術大会，塩尻，2017 年 9 月 16-18 日。J Oral Biosci Suppl 2017, p.89-93, 2017.
- 16) 大島勇人：組織学の研究法。新潟大学医学部保健学科特別講義，新潟，2017 年 10 月 31 日。
- 17) 大島勇人：象牙質・歯髄複合体の発生と再生，北海道大学歯学部特別講義，2017 年 11 月 24 日。
- 18) 大島勇人：(企画) 第 23 回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催），京都，2017 年 12 月 15 日。
- 19) 大島勇人：由来と分化能から歯髄の生物学的特性を考える。東京医科歯科大学大学院特別セミナー，東京，2018 年 3 月 1 日。
- 20) 本田雅規，大島勇人：(企画) 第 17 回日本再生医療学会総会シンポジウム「歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウム Vol. 2: 歯科再生医療の実用化そして普遍化に向けた取り組み」：(座長) 本田雅規，大島勇人，1. 畠 賢一郎『歯科再生医療ビジネスモデルを考える（仮題）』，2. 浅野武夫『再生医療実用化研究事業と歯科再生医療』，3. 土屋 周平『骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法の評価と臨床展開』，4. 中田 光『開業医レベルに歯科再生医療を普及するための取り組み』，第 17 回日本再生医療学会総会，東京，2018 年 3 月 21-23 日。

## 口腔病理学分野

### 【著 書】

- 1) 田沼順一：新口腔病理学(下野正基 他編)，1-357 頁，医歯薬出版，東京，2018。
- 2) 田沼順一：口腔病理アトラス 第 3 版(高田 隆 他編)，89-108 頁，医歯薬出版，東京，2018。
- 3) 丸山 智：口腔病理アトラス 第 3 版(高田 隆 他編)，139-141, 147 頁，文光堂，東京，2018。

### 【論 文】

- 1) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Xu B, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Yamamoto T, Saku T: Proteomic and histopathological characterization of the interface between oral squamous cell carcinoma invasion fronts and non-cancerous epithelia. Exp Mol Pathol 102 (2): 327-336, 2017.

- 2) Hashimoto K, Hayashi R, Mukaigawa T, Yamazaki M, Fujii S: Concomitant expression of ezrin and HER2 predicts distant metastasis and poor prognosis of patients with salivary gland carcinomas. *Hum Pathol* 63: 110-119, 2017.
- 3) Hara H, Misawa T, Ishii E, Nakagawa M, Koshiishi S, Amemiya K, Oyama T, Tomonaga K, Cheng J, Tanaka A, Saku T: Differential diagnosis of well-differentiated squamous cell carcinoma from non-neoplastic oral mucosal lesions: new cytopathologic evaluation method dependent on keratinization-related parameters but not nuclear atypism. *Diagn Cytopathol* 45 (5): 406-417, 2017.
- 4) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Nohno K, Morozumi T, Yoshie H: Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissues. *Arch Oral Biol* 79: 35-41, 2017.
- 5) Shingaki M, Nikkuni Y, Katsura K, Ikeda N, Maruyama S, Takagi R, Hasashi T: Clinical significance of intraoral strain elastography for diagnosing early stage tongue carcinoma: a preliminary study. *Oral Radiol* 33 (3):204-211, 2017.
- 6) 小島 拓, 三上俊彦, 林 孝文, 丸山 智, 山崎学, 小林正治: 口蓋腺に発生した小細胞癌の 1 例: 日本口腔外科学会雑誌, 63(7):358-363, 2017.
- 7) 堀野一人, 小林孝憲, 飯田明彦, 斎藤太郎, 大西眞, 丸山 智: 上顎に発生した唾液腺導管癌の 1 例: 新潟歯学会雑誌, 47(1):39-43, 2017.

#### 【商業誌】

- 1) 丸山 智: 歯界展望, 歯科医療 未来と夢, 260 頁, 医歯薬出版, 東京, 2017.

#### 【研究費獲得】

- 1) 丸山 智: 唾液腺腫瘍の低酸素レベル細胞外環境におけるエネルギー代謝調節機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11069, 2017.
- 2) 山崎 学: 同種アポトーシス死細胞貧食によって誘導される口腔扁平上皮癌の細胞活性化機序. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11006, 2017.
- 3) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の浸潤界面における細胞競合現象のプロテオーム解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 15K20384, 2017.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一: ワークショップ 2 外科病理シリーズ: 口腔癌と口腔上皮性異形成の病理~WH02017 の改定を

踏まえて 口腔の前癌病変と早期癌に関する問題点. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟市, 2018 年 1 月 25-26 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 108 頁, 2018.

- 2) 丸山 智, 阿部達也, 山崎 学: ワークショップ 2 外科病理シリーズ: 口腔癌と口腔上皮性異形成の病理~WH02017 の改定を踏まえて 免疫組織化学の導入による口腔上皮性異形成・上皮内癌の客観的病理組織診断の均霑化をめざして. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟市, 2018 年 1 月 25-26 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 109 頁, 2018.

#### 【学会発表】

- 1) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 隅田賢正, 程 瑠, 朔 敬: 低酸素環境下で MYC は唾液腺多形腺腫由来細胞の存在・増殖を亢進する. 第 106 回日本病理学会総会. 東京都, 2017 年 4 月 27-29 日. 日本病理学会会誌, 106 (1): 295, 2017.
- 2) 隅田賢正, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 高木律男, 程 瑠: 口腔扁平上皮癌における SOX9 の発現様式. 第 106 回日本病理学会総会. 東京都, 2017 年 4 月 27-29 日. 日本病理学会会誌, 106 (1): 364, 2017.
- 3) 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 許 波, 隅田賢正, 程 瑠, 山本 格, 朔 敬: 口腔表在性癌と非癌部粘膜上皮との界面におけるタンパク質動態解析. 第 106 回日本病理学会総会. 東京都, 2017 年 4 月 27-29 日. 日本病理学会会誌, 106 (1): 408, 2017.
- 4) 山崎 学, 隅田賢正, 丸山 智, 阿部達也, 程 瑠, 朔 敬: 口腔癌治療後に生じた bizarre stromal reaction の 2 例. 第 106 回日本病理学会総会. 東京都, 2017 年 4 月 27-29 日. 日本病理学会会誌, 106 (1): 424, 2017.
- 5) 隅田賢正, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 高木律男, 程 瑠: SOX9 細胞質陽性は口腔扁平上皮癌の予後不良と関連する. 第 28 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会. 川崎市, 2017 年 8 月 23-25 日. 日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 91 頁, 2017.
- 6) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 隅田賢正, 程 瑠, 朔 敬: MYC は低酸素環境下における唾液腺多形腺腫由来細胞の存在・増殖を亢進する. 第 28 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会. 川崎市, 2017 年 8 月 23-25 日. 日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 93 頁, 2017.
- 7) 阿部達也, 山崎 学, 隅田賢正, 船山昭典, 西山秀昌, 新國 農, 程 瑠, 林 孝文, 小林正治, 丸山 智: 下顎骨腫瘍. 症例検討. 第 28 回日本臨床

口腔病理学会総会・学術大会. 川越市, 2017年8月23-25日. 日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 112頁, 2017.

- 8) 隅田賢正, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 高木律男: 口腔扁平上皮癌における SOX9 細胞質発現は予後不良と関連する. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会. 京都市, 2017年10月20-22日. 日本口腔外科学会誌, 163 (S): 369, 2017.
- 9) 隅田賢正, 山崎 学, 阿部達也, 高木律男, 丸山智: 口腔扁平上皮癌における SOX9 細胞質発現は予後不良と関連する. 平成29年度新潟歯学会第2回例会. 新潟市, 2017年11月11日. 平成29年度新潟歯学会第2回例会プログラム抄録集, 8頁, 2017.
- 10) 船山 昭典, 千田 正, 三上 俊彦, 金丸 祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 丸山 智, 芳澤亨子, 小林正治: 当科における口腔粘膜細胞診と組織診の臨床病理学的検討. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟市, 2018年1月25-26日, 同学術集会プログラム・抄録集: 163頁, 2018.
- 11) 小田陽平, 千田 正, 竹内涼子, 三上俊彦, 金丸祥平, 船山昭典, 山崎 学, 丸山 智, 新國 農, 林 孝文, 小林正治: 下顎骨辺縁切除を行なった乳児黒色神経外胚葉性腫瘍の1例. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟市, 2018年1月25-26日, 同学術集会プログラム・抄録集: 201頁, 2018.
- 12) 三上俊彦, 金丸祥平, 千田 正, 船山昭典, 小田陽平, 新美奏恵, 丸山 智, 林 孝文, 小林正治: 舌扁平上皮癌における「厚み」の臨床病理学的検討. 第 36 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 新潟市, 2018年1月25-26日, 同学術集会プログラム・抄録集: 204頁, 2018.

## 歯科薬理学分野

### 【論 文】

- 1) Zhang M, Niibe K, Kondo T, Kamano Y, Saeki M, Egusa H. Gene delivery and expression systems in induced pluripotent stem cells. *Interface Oral health Science 2016*, Eds: Sasaki K, Suzuki O, Takahashi N, Springer, Singapore: 121-133, 2017.
- 2) Rizzolo K, Huen J, Kumar A, Phanse S, Vlasblom J, Kakihara Y, Zeineddine HA, Minic Z, Snider J, Wang W, Pons C, Seraphim TV, Boczek EE, Alberti S, Costanzo M, Myers CL, Stagljar I, Boone C, Babu M, Houry WA. Features of the

Chaperone Cellular Network Revealed through Systematic Interaction

*Mapping. Cell Rep.* 20(11):2735-2748, 2017.

- 3) Yamaguchi H, Hayama K, Sasagawa I, Okada Y, Kawase T, Tsubokawa N, Tsuchimochi M\*. HER2-targeted multifunctional silica nanoparticles specifically enhance the radiosensitivity of HER2-overexpressing breast cancer cells. *Int J Molec Sci.* 19:908; 2018.
- 4) Kitamura Y, Watanabe T, Nakamura M, Isobe K, Kawabata H, Uematsu K, Okuda K, Nakata K, Tanaka T, Kawase T\*. Platelet counts in insoluble platelet-rich fibrin clots: a direct method for accurate determination. *Front Bioeng Biotechnol.* 6:4; 2018.
- 5) Kawabata H, Isobe K, Watanabe T, Okudera T, Nakamura M, Suzuki M, Ryu J, Kitamura Y, Okudera H, Okuda K, Nakata K, Kawase T\*. Quality assessment of platelet-rich fibrin-like matrix prepared from extendedly stored whole blood samples. *Biomedicines.* 5:57; 2017.
- 6) Horimizu M, Kubota T\*, Kawase T, Nagata M, Kobayashi M, Okuda K, Nakata K, Yoshie H. Synergistic effects of the combined use of human cultured periosteal sheets and platelet-rich fibrin on bone regeneration: an animal study. *Clin Exp Dent Res.* DOI: 10.1002/cre2.71; 2017.
- 7) Isobe M, Watanabe T, Kawabata H, Kitamura Y, Okudera T, Okudera H, Uematsu K, Okuda K, Nakata K, Tanaka T, Kawase T\*. Mechanical and degradation properties of advanced platelet-rich fibrin (A-PRF), concentrated growth factors (CGF) and platelet-poor plasma-derived fibrin (PPTF). *Int J Implant Dent.* 3:17; 2017.
- 8) Isobe M, Suzuki M, Watanabe T, Kitamura Y, Suzuki T, Kawabata H, Nakamura M, Okudera T, Okudera H, Uematsu K, Nakata K, Tanaka T, Kawase T\*. Platelet-rich fibrin prepared from stored whole-blood samples. *Int J Implant Dent.* 3:6; 2017.
- 9) Watanabe T, Isobe K, Suzuki T, Kawabata H, Nakamura M, Tsukioka T, Okudera T, Okudera H, Uematsu K, Okuda K, Nakata K, Kawase T\*. An evaluation of the accuracy of